

会 議 事 録

1 会議名	令和4年度第2回長岡市高齢者保健福祉推進会議
2 開催日時	令和5年3月29日(水曜日) 午後1時30分から午後3時まで
3 開催場所	アオーレ長岡 西棟3階 協働ルーム
4 出席者名	(委員) 本田委員長 川崎副委員長 穴澤委員 岡村委員 覚張委員 鯉江委員 小林守委員 佐藤委員 竹内委員 西山委員 長谷川委員 高橋委員 古川委員 八子委員 山崎委員 山田委員 吉井委員 (事務局) 福祉保健部長 福祉総務課長 介護保険課長 長寿はつらつ課長 多世代健康づくり推進室長(健康課長代理) 長岡市社会福祉協議会事務局長 ほか関係職員
5 欠席者名	小林啓一委員 鈴木委員 米山委員
6 議題	(1) 第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の進捗状況について (2) 令和4年度介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の結果について (3) 地域福祉に係る市民アンケート調査の結果について
7 資料	別添のとおり
8 審議の内容	
発言者	議 事 内 容
福祉総務課長補佐	○開会 ○資料の確認
委員長	○委員長あいさつ 年度末でしかも最後の週ということで、大変な時期であるが、第2回目を開催させていただく。新型コロナウイルス感染症に関しても、現在2類から5類へと、気持ちの上でも少しずつ変わっていくのではないかと考えている。 今回が任期中の最後の会議となる。今日は第8期の進捗状況と、第9期に向けて色々な調査等々を先生方からご教授いただきながら、進めてきたい。よろしくお願いいたします。

<p>担当課より説明 (介護保険課長) (長寿はつらつ課長) (多世代健康づくり 推進室長) (福祉総務課長)</p>	<p>○会議の傍聴・公開についての確認 ※傍聴者がいないことを確認。 会議が公開であることの説明。</p> <p>○議題（１） 第８期高齢者保健福祉計画介護保険事業計画の進捗状況について、事務局から説明願う。</p> <p>（資料No.1-1、1-2、1-3をもとに説明）</p>
<p>委員長</p>	<p>ただいま、事務局の方から幅広く、また具体的な説明をして頂いた。委員の皆様から質問等あるか。吉井委員。</p>
<p>委員</p>	<p>地域包括ケアシステムを推進していく中での要なサービスとして地域密着型サービスがあると思うが、先程の報告だと利用が減少している。その原因は周知の問題なのか。周知しているが、市民の方の理解が得られてないのか、それともケアマネ自身の問題なのかということが一点。</p> <p>もう一点は、フェニックスネットについて。市として、このフェニックスネットの推進を挙げているが、具体的にどのような推進方法を考えてるのかお聞かせていただきたい。</p>
<p>委員長</p>	<p>以上二点について、事務局の回答願う。</p>
<p>介護保険課長</p>	<p>私からは地域密着型サービスの微減傾向にあるというところの実績についてお答えする。委員からお話があったとおり、原因ではないかというところを二点考えている。</p> <p>一点目は、委員がおっしゃったとおり利用者の方へのPRがまだ不足していて利用に繋がらないんじゃないかというのが一点。その部分については、居宅介護支援事業所の方にまた周知、働きかけながら利用の増加に繋がっていかないと考えている。</p> <p>あともう一点が、令和３～４年度にかけて、特に支所地域における地域密着型サービス事業所の廃止というのがある。サービス事業所の廃止があれば当然その分だけ利用者数、利用回数というのが減少するので、その辺も微減傾向にあるところの一つの理由じゃない</p>

<p>長寿はつらつ課長</p>	<p>かと考えている。</p> <p>事業所から話を聞くと、廃止になった理由で一番大きいのが人材の確保が困難ということ。昨今叫ばれている介護人材の不足というところで、開きたいんだけど開けない、やむを得ず廃止してしまうというような事業所があると聞いている。その部分がすごく大きい原因なのではと考えている。</p> <p>私からはフェニックスネットの今後の方向性をお答えする。フェニックスネットの方はご承知のとおり、医療機関、薬局、介護事業所等、救急、その関係機関が連携をして、高齢者だけでなくすべての皆さんの生活を守るという形でやってきた経過がある。登録機関や登録者の増加など、今一度拡大するような形を目指していきたい。フェニックスネットは地域包括ケアを進めていくため大変重要なものと認識している。その方向でしっかりやっていきたい。</p>
<p>委員</p>	<p>ありがとうございました。最初の地域密着型サービスについては、福祉事業者として啓発をしていきたいと。それからフェニックスネットについては、登録者の拡大もさることながら、もうちょっとフェニックスネットを進化させていくことを考えてほしい。機能が低下していくような感じがしている。</p>
<p>委員長</p>	<p>先ほど人材不足と挙げられた部分があるが、大きい課題と思う。社会全体の問題でもある。その確保を色々としていただきたい。その他質問等あるか。</p> <p>(なし)</p>
<p>福祉総務課長</p>	<p>○議題(2)</p> <p>令和4年度日常生活のニーズ調査結果について、事務局の方から説明願う。</p> <p>(資料No.2をもとに説明)</p>
<p>委員</p>	<p>(分析結果、ポイントなどを資料No.2をもとに説明)</p>
<p>委員長</p>	<p>只今のニーズ調査について皆様から質問等あるか。西山委員。</p>
<p>委員</p>	<p>調査の中で11ページの「幸せ度」というのは個人的な主観が非常に大きいわけだが、質問をもう少し細かく、こういう点が幸せを感じますかという具体的な質問ではいけなかったのか。</p>

委員	<p>「あなたは現在どの程度幸せですか」ということで、「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点としてお答えくださいという設問だが、前回との比較を見るとほぼ同じなので、主観といえども、ある程度客観的に見えるのでは。7点くらいがどうも境になるのではないか。幸せだなと思う人は8点以上付けてるし、非常に不幸だという人は低い点を付けているという形になっている。</p>
委員長	<p>よろしいか。</p>
委員	<p>はい。</p>
委員長	<p>その他質問等あるか。長谷川委員。</p>
委員	<p>非常に興味深い調査結果をありがとうございました。後半の方で、フェニックスネットや長岡市の取組も「知らない」というのが多いというか寧ろ増えている。調査する人が変わるので一概に言えないとは思いますが、なにか前回から改善されて周知方法を変えたとか、そういう取り組みが市の方でされているようであれば教えていただきたい。</p>
委員長	<p>改善あるいは具体的に事務局からの回答願う。</p>
長寿はつらつ課長	<p>フェニックスネットの周知方法を変えたところをお話させていただきたい。従来からチラシやホームページ等では周知していたが、チラシのところに、QRコードでの申し込みができる形で登録をしやすいうような取り組みをやっている。従来だと紙媒体での申し込みという形だったが、昨今のQRコードや、スマホ利用の方に対して、そのような形を取らせていただいている。</p>
委員	<p>全体的に高齢者の方に周知する方法として市政だより等があると思うが、その辺の影響と、せっかくある地域別の包括支援センターを拠点とした発信の仕方とか、もう少し広報の仕方そのものを周知する必要があると感じた。考えていただければ。</p>
委員長	<p>ご意見として頂いた。そのほか質問等あるか。鯉江委員。</p>
委員	<p>ある学校で人を集めるときに分厚い冊子を作って、こういう職業訓練ができますと。だけどそういうものは誰も見ない。2週間後に始まりますというチラシでポンと出しても意外に来る。と言う話し</p>

	<p>もあるので、その辺がちょっと工夫されるとずいぶん変わるんじゃないかと思う。</p>
<p>委員長</p>	<p>現在は情報化時代ではあるがいろんな工夫を凝らしながらということ。</p>
<p>委員</p>	<p>フェニックスネットに関して、QRコードとか、高齢者の方はそういう難しいことはしない。一番なのは、今以上にお医者さんとの連携で、今も連携はしているが、それよりもっとお医者さんから言われるとみなさん入ろうと思うので、力を入れたら良いと思う。</p>
<p>委員長</p>	<p>医師との連携ということ。</p>
<p>副委員長</p>	<p>民生委員の経験上消防署と話しをしたことがあるが、その時に新潟日報でフェニックスネットのことが特集されていて、そのネットに登録してあると消防署救急搬送の時の時間がずいぶん違うと。ただ我々の感覚で2分くらいですが、消防署の方によるともっと少ない時間だと。そういうことを一般の方々にもっと知っていただく。そういうものを利用していると、こういうことがありますよという何かがあるということはかなり違う。フェニックスネットの案内の中に、システムの案内は載っているが、事例等も載せた方が感覚的にもわかると考える。</p>
<p>委員長</p>	<p>そのほか質問等あるか。</p>
<p>委員</p>	<p>質問じゃなく感想だが、うつ病予防等の集まりに話しをしに出向いた際に「皆さん幸せですか」と聞くと皆さん手を挙げる。高齢期に入り今の生活で大体満足して幸せを感じているのかと思っていたが、あまりに多かったので驚いた。社会的役割、社会参加の場面がある人だと幸せを感じている。自宅にいてあまり仕事がないというより、社会参加をすること良いということが皆さんによく行き渡るところという数字があがってきて、いい長岡だな、住みたいという思いになるのかと思う。</p>
<p>委員長</p>	<p>役割や生きがいがあると幸せだなと感じるということ。 そのほか質問等あるか。 (なし)</p>

	<p>○議題（３）</p> <p>地域福祉に関わる市民アンケート調査の結果について事務局から説明願う。</p>
福祉総務課長	（資料No.3をもとに説明）
委員	（分析結果、ポイントなどを資料No.3をもとに説明）
委員長	只今の市民アンケートについて皆様から質問等あるか。
副委員長	無作為の抽出とあるが、年齢層に偏りが出るのでは。
委員	無作為というのは、母集団に対して同じ割合で形成されるということなので、感覚的には多少違ってくるが、全体的に見て前回の総数に対する抽出がおかしくなったという結果ではない。
委員	回収数が1,446人とあるが、年齢別にどういう年代が多いとかはわかるか。
委員	わかるが、今回の報告書には載せていない。
委員	高齢者か、それ以外の年代とかわかると非常に参考になる。
委員	報告書の別冊：集計結果では、年齢別クロス集計結果をまとめる。
委員長	他に質問等あるか。
	（なし）
	<p>議題、報告事項は以上である。</p> <p>任期が3月31日をもって満了であるが、この3年間、このように様々なご意見をいただき、会議を開催できたことに感謝を申し上げる。</p> <p>ここで、進行を事務局へお返しする。</p>
福祉総務課長補佐	ありがとうございました。閉会にあたり、福祉保健部長よりごあいさつ申し上げます。
福祉保健部長	本日はお忙しい中、長時間にわたり活発な議論をいただき感謝申し上げます。

福祉総務課長補佐	<p>先生からのアンケート調査の解説からも伺える様に、コロナ禍の中で、例えば住民の方が社会との関わりが希薄になってきているところや、福祉制度やサービスが十分に認知されていないということからくる高齢者の皆様の生活や健康への影響も非常に心配される場所である。</p> <p>そういう中での次期計画策定作業というのが、これから4月以降、さらに加速化していくわけだが、次の計画はアフターコロナを見据えて、高齢者の皆様の健康増進や、或いは権利擁護、認知症対策などに力を入れて、いわゆる地域包括ケアのさらなる推進と、健康寿命の延伸ということもテーマにして考えてまいりたい。そういった事業や施策を実施するには、もう一方で人材確保、人材育成というのもこれから課題になると思う。</p> <p>今日の会議の内容を、今後の計画づくりに必ず活かしてまいりたい。</p> <p>委員の皆様におかれては、これで任期満了ということで、3年間、これまでのご尽力に改めて感謝申し上げます。</p> <p>皆様のますますのご健勝とご活躍をお祈り申し上げ、閉会の挨拶とさせていただきます。本日は大変ありがとうございました。</p> <p>○閉会</p>
----------	--